漁船海難月報

平成十六年一月分

第七管区海上保安本部

管内で十七隻の漁船海難が発生

このうち長崎県の海上保安部署取扱分は九隻

事例

A丸は、平成十六年一月十五日午後四時十五分ころ、北松浦郡小値賀島西方海域において、一本釣り漁業を終了し、水揚げのため佐世保市相浦港向け自動操舵を使用し航行中、佐世保市相浦浅子から同市黒島漁港向け航行中のB丸と衝突した。

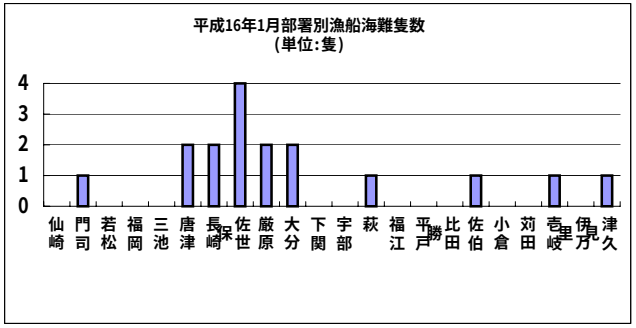
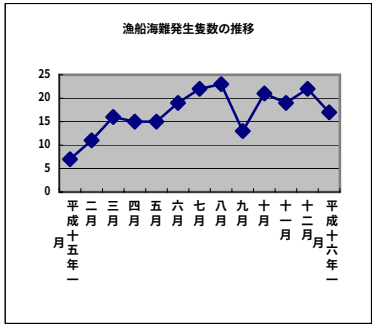
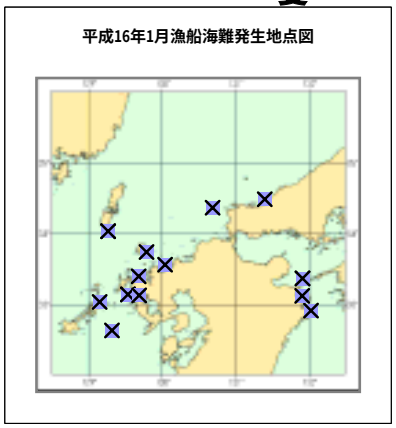
衝突の衝撃により、B丸は転覆し、乗船していた船長と乗組員計3名が海中に投げ出され、このうち乗組員2名は直ちにA丸により救助され、船長はA丸のダイバーにより転覆したB丸船内で発見された遺体が確認されたが、船長と乗組員1名の死亡が確認された。

A丸船長は自動操舵で航行中、衝突の約5分前に寒気を催し船室内にあるストーブに点火するため船橋を離れていたとのこと。

種類別

衝突	7
乗揚	1
転覆	0
浸水	1
推進器障害	0
舵障害	0
機関故障	2
火災	3
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	2
安全阻害	1
その他	0

部署別

仙崎	0
門司	1
若松	0
福岡	0
三池	0
唐津	2
長崎	2
佐世保	4
厳原	2
大分	2
下関	0
宇部	0
萩	1
福江	0
平戸	0
比田勝	0
佐伯	1
小倉	0
苅田	0
壱岐	1
伊万里	0
津久見	1

合計17隻